

こころ

伊達小学校 4つの「あ」
あんぜん・あいさつ・あつまり・あとしまつ

令和元年 8月 発行元：伊達市立伊達小学校

あいさつがなくなったら どうなるんだろう。

きょうから、この国では、
あいさつを きんしする。
あいさつを したものは、
ろうやに 入れる

王さま



右の文は、部下や国民に毎日あいさつされ
続けて、あいさつに嫌気をさした王様が出し
た命令です。
そもそも、あいさつは何のためにするの
でしょうか。

七月十八日に、二年
二組にて道徳推進教師
による道徳授業を行
いました。

授業では、何のために
あいさつをするのかを真
剣に考えました。
そして、その考えたこ
とをたくさんの方々に
伝えました。



「あいさつ」は 「4つのあ」の大切なひとつです。

本校では、子どもに身に付けてほしい
「4つのあ」の大切さを伝えていきます。
自分から進んであいさつをすること
で、

- ・人とのつながりができます。
- ・たくさんの人に覚えてもらえます。
- ・学校が明るい雰囲気になります。

など、
よいことがたくさん生まれてきます。
「おはようございます」「こんにちは」「
さようなら」と、自分から声を出して
あいさつできる、伊達小学校の子ども
であってほしいと、先生も地域も、おうち
の人も願っています。

子どもたちの振り返りから

- ・もうちょっと、あいさつをふやしたほうが
よいとおもった。
- ・みんなにあつたときに、こんにちは、こん
ばんは、おはようというってあげることが、
だいじだとおもった。
- ・あいさつをすることで、ともだちができる
から、たいせつだとおもった。
- ・あいさつは、きもちよくせいかつするの
にだいじだとおもった。

朝、教室に入ると、元気な声で「おはよう」とあいさつをしてくれる人がいます。帰りのあい
さつも元気な声で「さようなら」してくれる人がいます。笑顔で元気なあいさつを聞くと、うれ
しい気持ちになります。いつも元気なあいさつをありがとう。ある先生の手紙より